

全国の自治体、温暖化防止活動推進センターのみなさまへ

～環境問題の伝え手を育てる～

枝廣 淳子の「環境コミュニケーションセミナー」 プログラム実施のご提案

異常気象の頻発にも温暖化への意識や関心はなかなか高まらず、原発やエネルギー情勢に「温暖化どころではない」という風潮も広がっており、各地で温暖化に対して警鐘を鳴らして人々に理解と行動変容を促す役割を担っている方々には逆風が吹いているかのようです。一方、手をこまねいている間にも、温暖化はどんどんと進行しつづけます。

ですから、温暖化について伝え、行動変容を促す役割を担っている方々には、うまく伝わらないことがあっても気落ちすることなく、伝え続けるモチベーションや自分をマネジメントする力、さらには伝えるべきことを、より効果的に伝え、その先の広がりを作り出し、相手が自ら行動を変えるよう促す力」を高めていただかなくてはなりません。

そこで、早くから温暖化問題について警鐘を鳴らし続け、環境ジャーナリストとして、TVなどマスメディアでも知られるようになった枝廣淳子が、これまでの知見の全てを注ぎ、自治体などで活躍する伝え手を支えるための、お手伝いをいたします。

枝廣淳子の「環境コミュニケーションセミナー」を開催しませんか？

既に実施した自治体では、大変高い評価を頂いています。また、自治体や温暖化防止活動推進センターのみなさまが導入しやすいように、特別価格を設定させていただきました。

皆で取り組むべきこの難しい問題について、伝え手を効果的に支え、伝える力の向上を導くお手伝いをさせていただきます。ぜひともご検討ください。

自治体・温暖化防止活動推進センター向け

枝廣淳子の「環境コミュニケーションセミナー」

■ 概要

対 象：温暖化などの環境問題を伝える役割を果たしている人、果たしたいと
思っている人

人 数：少人数から 50 人ほどまで（ご要望にあわせて調整いたします）

時 間：2～4時間程度（ご要望にあわせてプログラムを作ります）

料 金：30 万円（税別）、別途交通費・宿泊費

※自治体・温暖化防止活動推進センターなど向け特別価格になります。

※企業のみなさまはご希望にあわせてお見積もりさせていただきますので、
別途ご相談ください

その他：会場の準備および会場費につきましては基本的にご依頼主さまのご負担とさ
せていただきます。（ご要望にあわせてご相談ください）

■ プログラム（例）：

1. 自分の伝える力の強み・弱みを振り返る
2. 「伝える力」を強める
3. 「広がり」を創り出す
4. 「行動」を変える
5. 「温暖化懐疑論」の扱い方
6. 「無関心の壁」の乗り越え方
7. IPCC 第 5 次報告書の伝え方
8. 作戦を練り、計画を立てる

ご参考：セミナー参加者からの感想（岡山で実施）

開催日時：2013年11月12日（火）13時～17時

参加者数：30名

評価の平均点：4.8（5点満点）

「役に立ちました！」

- 「粘るメッセージ」はいろいろな面で参考になりました。
- 要点を短的に表現することの必要性が理解できた。
- 「無関心の壁」について、これまでこの層についての切り口が見いだせずにはいた。身近なニュースからなどの手段の一つが参考になった。
- ビジネスにもつながる非常に有意義なお話でした。
- 「粘るメッセージ」の重要性や相手に興味をもってもらう方法を知り、これからの活動で生かしていきたい。
- いろいろこれからの講座に使える資料や方法、振り返りの大切さをありがとうございました。
- 知識の研修というよりは実学の研修ができ、あっという間に時間が過ぎました。

「わかりやすかったです！」

- 難しい話をかみくだいて話していただいたよかったです。
- 要点を事例等を交えて具体的に説明していただいたので、分かりやすく理解できた。

「自分ごととして考えられました！」

- 個人の活動を振り返りながらの講義だったので、「自分ごと」としてお話を聴くことができました。
- まずは自分自信を振り返りるところから入ったので、課題意識をもってかなり頭を使いながらお話を伺うことができた。
- 自分を振り返り、いい案が浮かんだ。
- 今回の講演会は自分自身の活動を振り返る良い機会になりました。これからは「伝え手」を増やしていくことにチャレンジしていきたいと思います。

「自信につながりました！」

- 日常の活動に活かせるお話で自信が持てた。（展望が開けました）
- 直感的に今まで考えていたこと、行ってきたことが間違っていなかったことに自信が持てた。ただし、今まで理論的な裏付けが薄弱であることも認識できた。
- また前に一歩進めそうです。

＝枝廣淳子プロフィール＝

*枝廣の活動の経緯は以下のサイトにも詳しくご紹介しています

http://www.es-inc.jp/about_es-inc/profile.html

東京大学大学院教育心理学専攻修士課程修了。

『不都合な真実』（アル・ゴア氏著）の翻訳をはじめ、環境問題に関する講演や執筆、企業コンサルティング、異業種勉強会等の活動を通じて「伝えること」でうねりを広げつつ、変化を創り、広げるしくみづくりを研究。「つながり」と「対話」で、しなやかに強く、幸せな未来の共創をめざす。



本当の幸せを経済と社会の関わりで学ぶ研究会を開催するほか、社会のさまざまなセクターが対話と共創で問題解決を進められるよう、マルチステークホルダープロセス（MSP）や社会的な合意形成に向けての場づくりのお手伝い、ファシリテーター等を、行政や自治体、教育機関、企業などで数多く務める。

環境省の「地球温暖化対策の進捗状況評価」業務に伴う「コミュニケーション・マーケティングワーキンググループ」座長。

NHKEテレ「東北発☆未来塾」講師（2014年1月）、TBS「ニュース23」でのコメンテーターなどテレビ番組の出演多数。ウェブサイト「Yahoo!ニュース」では「個人オーサー」（<http://bylines.news.yahoo.co.jp/edahirojunko/>）のページをもち情報発信を行うほか、1999年11月から配信をスタートした自身の環境メールニュースは2300本を超える（2014年2月末時点）。

「ガスエネルギー新聞」「ビジネス情報誌エルネオス」での連載ほか、『朝2時起きで、なんでもできる!』『わが家のエネルギー自給作戦』『もっと使いこなす!「システム思考」教本』など、これまで執筆した著書・翻訳書は80冊以上におよぶ。

日経ウーマンの『ウーマン・オブ・ザ・イヤー2004 キャリアクリエイティブ部門』を受賞。

[ご参考]

- *メディア掲載履歴 <http://www.es-inc.jp/news/media.html>
- *これまでの執筆記事 <http://www.es-inc.jp/library/writing/index.html>
- *著書・翻訳書一覧 http://www.es-inc.jp/books/eda_works.html